ディスクロージャー実務を支援する
PRONEXUS

平成２７年３月１３日

各　位

会 社 名　　株式会社プロネクサス
代表者名　　代表取締役社長　上野剛史
（コード番号　７８９３　東証第一部）
問合せ先　取締役執行役員社長室長 大和田雅博
電話番号　　０３－５７７７－３１４５

英国ＩＲ協会「ＩＲベストプラクティス・ガイドライン 2015」日本語版の発刊について

株式会社プロネクサスは、ディスクロージャー・ＩＲ実務に関する情報加工サービスの専門会社として、日本の上場企業と株主・投資家のコミュニケーションの質的向上に貢献する取り組みを進めています。その一環として、2010 年から英国ＩＲ協会の「ＩＲベストプラクティス・ガイドライン」（以下、「本ガイドライン」）日本語版の作成に参画し、このたび６冊目となる 2015 年版が発刊されますのでお知らせいたします。

記

１．本ガイドライン日本語版作成の背景と当社の参画目的

株主・投資家向けのアニュアルレポートやウェブサイトは、誰でも入手・アクセスできるＩＲツールです。しかし、これと決まった書式やテンプレートがあるわけではありません。そうした中、英国ＩＲ協会はこれらのＩＲツールなどの「望ましい姿」の指針を定めた本ガイドラインを毎年作成・更新しており、英国を中心とした欧州の多くの国々において活用されてきた実績があります。

株式会社プロネクサスは、本ガイドライン日本語版の制作ワーキング・グループである「Project Future Proof」（以下、「ＰＦＰ」）の活動主旨に賛同し、５年前より参画してまいりました。

日本においては、「コーポレートガバナンス・コード」や「日本版スチュワードシップ・コード」の公表により企業が求められるコミュニケーションの質が変化し、それにともなって開示情報が深化・増加する傾向が続いております。最適なコミュニケーションのあり方を模索する企業に、本ガイドラインをよりわかりやすい形でご提供し日本企業のＩＲ活動の一助となること、本ガイドラインをベースとしたより良いＩＲのご提案をしていくことを参画の目的としています。

２．本ガイドライン日本語版の特長

（１）「ウェブサイト」「アニュアルレポート」「ソーシャルメディア」「ＩＲプレゼンテーション」の指針を提供

本ガイドラインでは、ＩＲ活動の重要な要素である「ウェブサイト」「アニュアルレポート」「ソーシャルメディア」「ＩＲプレゼンテーション」の４分野について指針を提供しています。これらの指針は、オンライン版アニュアルレポートに関する具体的なガイダンスなど、最新の技術・トレンドに対応しています。

（２）日本国内の上場企業の実例に基づいた具体例を明示

ＩＲ担当者の皆様に明確なイメージを持っていただくため、日本国内の上場企業の好事例等を

ガイドラインと併せて紹介しています。過年度版に加えてより多くの情報を提供するべく、2015 年版では、新たな上場企業の好事例を掲載いたしました。

３．本ガイドライン 2014 年版からの主な変更点

英国 IR 協会が発表するガイドラインの変更はありませんでしたが、より実践的な活用ができることを目指して、日本企業の好事例に関する情報を更新いたしました。掲載企業及び好事例の URL 一覧を追加して、参照しやすい冊子への改善をはかっています。

４．本ガイドラインのご提供

株式会社プロネクサスは、営業担当を通じてご要望のあるお客様を対象に本ガイドラインを無償で提供するほか、ワーキング・グループ「ＰＦＰ」メンバー等によるセミナーの開催を予定しております。

■ＩＲベストプラクティス・ガイドライン 2015 の配布開始予定日

2015 年 3 月 16 日（月）～

■ＩＲベストプラクティス・ガイドライン 2015 に関するセミナー開催予定日時

2015 年 3 月 20 日（金）15 時～　株式会社プロネクサス　セミナールーム

■ワーキング・グループ「ＰＦＰ」のメンバー

埼玉学園大学　米山徹幸氏

株式会社ファイブ・シーズ　越智義和氏

株式会社ラッセル・コミュニケーションズ　デビッド・ラッセル氏

株式会社プロネクサス　臼井俊文

■英国ＩＲ協会について

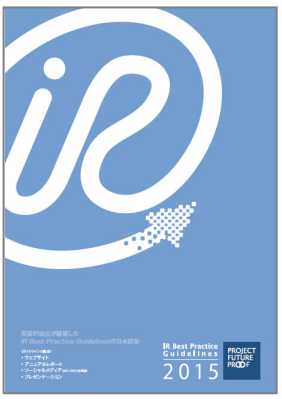
英国ロンドンを拠点とする欧州最大のＩＲ団体。会員は英国・ヨーロッパを中心に約 600。ＩＲに関する提言、ＩＲ担当者向け教育活動、キャリア支援などを行う。アニュアルレポートや企業ウェブサイトを対象に本ガイドラインをベースとした「ＩＲベストプラクティス賞」を年１回開催し、優秀なＩＲ活動を実践する企業を表彰している。

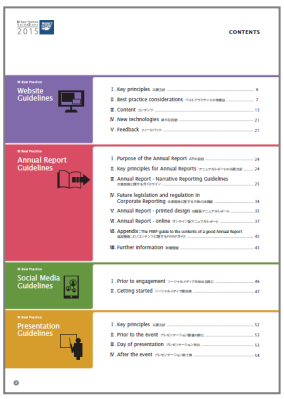
■本ガイドラインに関する問い合わせ先

株式会社プロネクサス　海外ＩＲ事業部　児玉・前川

Tel.03-5777-3609

（ご参考）本ガイドラインの表紙および目次





以　上